23　次の文章を読んで、問１～４に答えよ（設問の都合で返り点や送り仮名、振り仮名を省略した部分がある）。　 　　　〈神戸大〉二〇一九年度出題

　、孫 権 ㆓ 呂 ㆒ 「 今 レ レ 、①宜 学 開 。」蒙 ㆓ 軍 中 多 ㆒。権 「（ア）孤 豈 欲 卿 治 経 為 博 士 邪、 渉 、㆓ 往 ㆒ 耳。（イ）卿 言㆓ 多 務㆒、 若レ 孤。孤 レ 、 ②以 為 レ 所レ 。孔 子 『終 日 不レ 、終 夜 不レ 寝、 レ 益、レ レ 。』光 武 ㆓ 兵 戈 之 ㆒、 不レ レ 。孟 ㆓ 而 一レ 。（Ａ）卿 何 独 不㆓ 自 ㆒ 邪。」蒙 ③乃 レ 。

　後、魯 粛 ㆓ 尋 ㆒、与㆑ 蒙 論 、 「吾 大 ㆓ 武 略㆒ 、今 才 略、非㆓ ④復 呉 下 阿 蒙㆒。」蒙 「士 三 、 刮 相 。大 兄 レ 之 乎。」

（『資治通鑑』をもとに『江表伝』により改変）

〔注〕

○孫権―三国時代、呉の建国者（呉大帝）。在位二二二～二五二年。

○呂蒙―呉の武将。生没一七八～二一九年。

○当塗―要路にいること。重要な地位にいて権力を握っていること。

○孤―中国古代の王侯の自称。わたし。

○治経―『礼記』『春秋』などの経典を学んで身につける。

○博士―儒教を教授する官職。

○渉猟―書物を広く読みあさること。

○光武―後漢初代皇帝の光武帝（劉秀）。在位二五～五七年。

○巻―巻物。書物。

○孟徳―三国魏の始祖（魏武帝）である曹操の。生没一五五～二二〇年。

○勉勖―つとめ励むこと。努力すること。

○魯粛―呉の武将。生没一七二～二一七年。

○尋陽―地名。現在の中国江西省九江市。

○大弟―年少の男性に対する呼称。

○呉下阿蒙―かつて呉にいたときの蒙君。「阿」は相手を親しんで呼ぶ際にその姓や名につける接頭語。

○刮目―目をこすってよく見る。

○待―遇する。そなえる。

○大兄―年長の男性に対する呼称。

問１　二重傍線部①「宜」、②「以為」、③「乃」、④「復」をすべて平仮名で書き下せ（現代仮名遣いでよい）。

問２　傍線部（ア）「孤豈欲卿治経為博士邪」、（イ）「卿言多務、孰若孤」をそれぞれ現代語訳せよ。

問３　傍線部（Ａ）「卿何独不自勉勖邪」について、「独」とあることに注目し、本文に即して意味を補い現代語訳せよ。

◎問４　波線部「大兄何見事之晩乎」における「事」とは、だれのどのような状況を指すのか、本文に即して六〇字以内で説明せよ。

【解答と採点基準】

問１　①＝よろしく～べし　　②＝おもえらく　　③＝すなわち　　④＝また

②は「おもへらく」、③は「すなはち」も可。

問２　（ア）＝Ａ私がどうして Ｂあなたが経典を学んで身につけ博士になることをＡ望むだろうか、いや望まない

反語の形になっていないものは全体０。

Ａ＝６〔「欲～（＝～と望む）」の訳でない場合は減点３。〕

Ｂ＝４〔「卿（＝あなた）」〕の訳ができていない場合は減点２。〕

　　　（イ）＝Ａあなたは仕事の多さを言うが、Ｂ誰が私のように仕事が多いだろうか

Ｂが「誰が～か」の疑問の形でない場合は全体０。（「誰が～多いだろうか、いや多くはない」の反語の形も可。）

Ａ＝４〔「卿（＝あなた）」〕の訳ができていない場合は減点２。〕

Ｂ＝６〔「若～（＝～のように）」の訳ができていない場合は減点２。〕

問３　Ａ私、孫権だけでなく、孔子も光武帝も曹孟徳もみな学問を重視しているのに、ＢあなただけがＣどうして自分から（すすんで）努力しないのか、いや努力するのがよい

Ｃが反語の形になっていない場合は全体０。

Ａ＝３〔同内容可。〕

Ｂ＝２〔「卿（＝あなた）」の訳ができていない場合は減点２。「～だけ」という限定の形になっていない場合は０。〕

Ｃ＝５〔「自（＝自分から）」の訳ができていない場合は減点２。〕

問４　Ａ呉にいた時はＢ武略だけの人物だったＣ呂蒙の、Ｄ孫権の言葉に従い自ら進んで学問をすることで、Ｅ知略をも備えた人物へと成長した状況。（60字）

Ａ＝１／Ｂ＝２／Ｃ＝２／Ｄ＝３／Ｅ＝２

Ａ・Ｂ・Ｄ・Ｅは同内容可。

【書き下し文】

　め、にひてく「はにりをるに、問１①しくしてらすべし。」と。蒙するにを以てす。権曰く「に卿をしてをめとさんとせんや、だにし、をるのみ。卿多務をふも、か孤のごとき。孤にをみ、自ら問１②へらくいにするりと。言へらく『らはず、終ねず、以てふも益し、ぶに如かざるなり。』と。のに当り、はをかず。もた自らひて学をむと謂ふ。卿ぞり自らせざらんや。」と。蒙問１③ちめて学にく。

　、をり、蒙とし、大いにきて曰く「吾ふには但だ有るのみと、の才略、問１④たの蒙にず。」と。蒙曰く「れてなれば、ちにしてつべし。大何ぞ事を見るのきや。」と。

【現代語訳】

　初め、孫権が呂蒙に告げて言った「あなたは今重要な地位にいて（国家の）事業を掌り担当するのに、学問をして自分で知見を開き役立てるのがよい」と。蒙は断るのに軍中での仕事の多さを理由にした。権は言った「問２（ア）私がどうしてあなたが経典を学んで身につけ博士になることを望むだろうか、いや望まない、ただ当然書物を広く読みあさり、昔のことを見るべきのみだ。問２（イ）あなたは仕事の多さを言うが、誰が私のよう（に仕事が多い）だろうか。私は常に本を読み、自分では思っている、大いに役立つ所があると。孔子は言った『一日中食事を取らず、一晩中眠りもせず、それで思索したが得るところがなかった、（先人の教えを）学ぶことには及ばないのだ』と。光武帝は戦争に従事するに当たって、手は巻物を放さなかった。曹孟徳もまた自分で老いて学問を好むと言う。問３（このように古今のすぐれた人物は皆、学問を重視しているのに）あなただけがどうして自分から（すすんで）努力しないのか、いや努力するのがよい」と。蒙はそこで始めて学問に取り組んだ。

　後、魯粛が尋陽を通り過ぎ、蒙と議論して、大いに驚いて言った「私は君はただ武略（戦のはかりごと）があるだけだと思っていたが、今の才略（才能と知略）は、もはやかつて呉にいたころの蒙君ではない」と。蒙が言った「一人前の男子は別れて三日になれば、すぐに目をこすってよく見て相手に備えるべきだ。あなたはなんとこのことに気づくのが遅かったことよ」と。